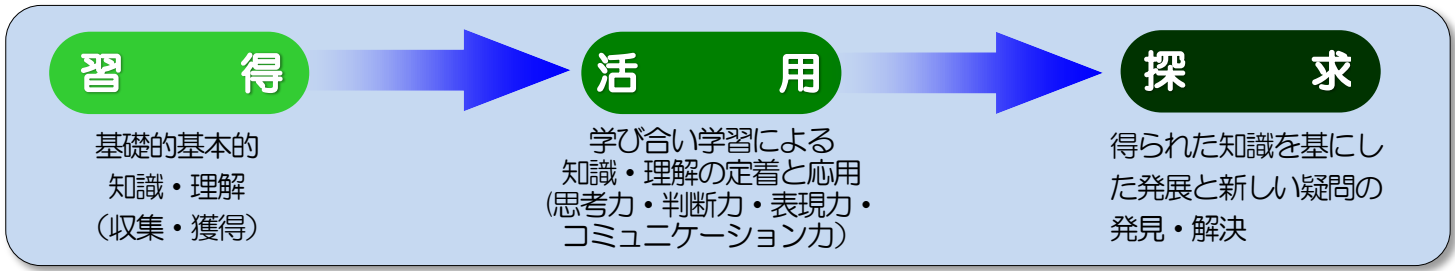


H28 学力向上プラン

学力獲得の過程



各段階での学力向上の手立て

習得段階	<ul style="list-style-type: none"> ○興味・関心を高めるための工夫・・・教材の工夫、授業形態の工夫、ICTの活用等 ○知識・理解定着のための工夫・・・反復学習、小テスト、学習支援プログラム、みんなの学習クラブの活用等 ○家庭学習の習慣化推進の工夫・・・反転学習の導入・家庭学習方法の指導及び家庭学習の必要性についての保護者啓発
活用段階	<ul style="list-style-type: none"> ○獲得した知識を活用、応用する場面の設定 ○自己決定が中心となる授業展開の工夫 ○生徒一人ひとりを生かす授業展開の工夫
探求段階	<ul style="list-style-type: none"> ○探求力、表現力の育成のための工夫 ○授業での支援の工夫 ○一人ひとりに合った支援のための工夫

○「協調学習」等のアクティブ・ラーニングを中心とした授業を積極的に導入し、生徒主体の学習を確立する。それにより、思考力・判断力・表現力を育成する。

○授業における教師の発言を極力削減し、生徒主体の授業づくりを推進する。(目標：1単位授業での教師の発言を10分に削減)

○一人ひとりの思考や思いを把握するために、毎時間評価やミーティングレコーダー等の活用を推進する。

学力向上の基盤となる授業経営、学級経営等・・・・・・積極的生徒指導の展開

- 生徒指導の3つの機能を常に意識した授業経営、学級経営、学校行事等の展開
 - ・自己決定・・・・・・全ての教育活動の中で、自己決定の場を設定(判断する力の育成)
 - ・自己存在感・・・・・・生徒一人ひとりが、なくてはならない存在だと意識できる教育活動の展開
 - ・共感的理解・・・・・・相手の気持ち、考えに共感できる生徒を育成するための教師の共感的理解

学力向上を支える家庭での生活

- 基本的生活習慣の確立→早寝・早起き・朝ごはん
- 家庭学習時間の確保
 - ・毎日の家庭学習の習慣化(反転授業等の工夫)
 - ・集中型学習の推進(一人ひとりに合った指導)

集中力

30分

勉強時間

- ・メディア活用のルールづくり (インターネット、携帯電話、テレビ視聴等)
- ・毎日の家庭自主学習: 学年×30分+1時間の実施

学力向上のためのその他の支援

【日常支援】

- 朝学・朝読
- 自主学習(自主学習ノートによる継続学習の推進)
- やまぐち学習支援プログラム・みんなの学習クラブの活用
- 地域人材を活用した土曜授業による学習力・活用力の育成

【長期休業中】

- 補充学習の実施
- 学習質問日の設定
- 学習ボランティアによるサマースクールの開催

【行事】

- キャリア教育関連行事の実施(講演会等)
 - 目的意識の向上による学習意欲の喚起